

体験活動参加型(小・中学校合同)

| | |
|----------|---|
| 学校名等 | 可見市立帷子小学校・広陵中学校 |
| 実施日時 | 令和7年11月5日(水) |
| 会場 | 広陵中学校 体育館 |
| 参加人数 | 11名 |
| 学習課題(分野) | ワンバウンド・バレー |
| 運営者の願い | 帷子小と広陵中は、昭和後期から、平成にかけて人口が増加した住宅地の中にある、1小1中の学校です。兄弟姉妹が小・中両方に在籍している家庭もあり、保護者同士が繋がりを絶やさないよう、活動を進めています。合同家庭教育学級は、ずっと以前から、年に1度、実施してきました。今年は、ワンバウンド・バレーを介して楽しい時間を共有し、交流を深めます。 |



1小1中は保護者が同じなので、合同の家庭教育学級は、親の負担軽減やつながりが途切れないという意味で効果的です。

学習の内容



<取組の概要>

広陵中・帷子小共に、年度当初(4月)に、学級生を募集し、応募した方を中心に家庭教育学級を運営しています。今年度は、中学校は約40名、小学校は約45名です。
 年1回の合同家庭教育学級で何をテーマにするかは、中学校の学級長を中心に、役員が決定します。今年度は、可見市が推奨しているワンバウンド・バレーに挑戦することにしました。新しい種目ということで、市から指導者の派遣もあり、ルール説明や審判等、サポートしていただきます。

<取組の様子>

はじめの会・あいさつ・種目説明・準備運動の後、小・中チームで、3ゲーム試合をしました。



「ワンバウンド・バレー」
 バレーボールに似たスポーツで、変形した「ふらば〜る」という軽いボールを使用します。相手コートから返ってきたボールは、必ずワンバウンドさせてからレシーブするのが最大の特徴です。このルールにより、ボールが予測不能な動きをすることから、ボールが比較的軽いことから、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツです。

| 試合結果 | |
|------|---------|
| 小 | 中 |
| 1 | 7 : 15 |
| 2 | 11 : 15 |
| 3 | 15 : 11 |

初めて経験される方が多かったのですが、皆さんの上達ぶり、素晴らしい!

スポーツを楽しむ、交流を図るということが、親同士のコミュニケーションを深めるよい機会になります。ワンバウンド・バレーという新しい種目。この家庭教育学級から、地域の活動に参加する方が現れるかもしれません。
 市のスポーツ推進委員会と家庭教育学級との連携は、双方を活性化させる意味で効果的です。



<学級長さんを中心に反省会>



<記念撮影>

<参加者の声>

- ・体が温まり、いい汗をかきました。
- ・ワンバウンド・バレーは、初めて挑戦しましたが、楽しくできました。
- ・地区のバレーの集まりは、いつやっているのですか?参加してみようかな。

小学校のメンバーは、この会の前に、地区センターに集まり、1時間ほどサロン会をした後、体育館に集合しています。



思春期真っ只中の子ども達と、日々、向き合っている中学校の先輩ママの経験談(後悔していること・よかったこと等)を聞くことは、小・中両方の保護者にとって自身の子育てを振り返ったり、見直したりすることにつながります。「あの時、こうしていれば...」「これからは、こんなふうにしてみよう」など、近い世代の親だからこそ素直に受け入れられる学びがそこにあります。